



北大元気プロジェクト2011

「奥手稲の自然探訪と緑化プロジェクト～植樹体験と山小屋ツアー～」(お知らせ)

概要: 札幌から見て手稲山の奥、国際スキー場との間には1930年に旧国鉄によって建てられた3階建ての大きな山小屋があります。「奥手稲山の家」です。現在は北海道大学が管理するこの山の家は、主に冬期のスキーツアーに使用されてきましたが、経年劣化のため、昨年9月に北海道大学フロンティア基金で補修工事が行なわれました。今回は、その資材運搬に利用した道に自然復元のための植樹と自然探訪を、「北大元気プロジェクト」の一環として、学生と市民団体の合同事業として実施します。

日時は6月11日(土)9:00～16:30(雨天の場合は翌日)。午前中の植林の後、昼ごはんをこの歴史ある山小屋でいただき、午後は北大の大学院学生による昆虫ガイドや山男による植生・花ガイドを行います。心地よい初夏の山の空気を吸いながら、エゾハルゼミの鳴き声を聞き、そこに分け入った先人に想いを馳せながら、自然の中で気持ちのいい汗を流すことができます。

参加者は、北大ワンダーフォーゲル部、同OB会、NPO手稲さと川探検隊のほか、学内外から定員40名(先着順)です。小中学生は保護者同伴でお願いします。

1. 背景と目的(奥手稲山周辺の自然と山の家)

北海道は自然に恵まれています。札幌では都会化も進み都市と自然の共生が次世代の大きな課題となっています。しかし、札幌近郊には自然が十分に残っているところも多く、特に奥手稲山近傍では手軽に自然を楽しむことができます。

ところで、皆さんは北海道大学が恐らく日本一多くのログ式山小屋を持っているのを知っていますか。建築順だと手稲パラダイスヒュッテ、ヘルベチアヒュッテ、無意根小屋、奥手稲山の家などです。いずれも札幌から1～2時間で、車も電気もガスも無い環境で、自然の恵みを頂戴できます。森の静寂、満天の星。老若男女誰でも使用が可能で、原点回帰、語り合い、世代を超えた交流を楽しむこともできます。

この中で、奥手稲山の家は、旧鉄道省が1930(昭和5)年に営業小屋として建設した80名収容の札幌近郊で最大の山小屋です。当時は管理人が常駐する山スキーの拠点として多くの市民が利用しました。1971(昭和46)年に北海道大学に譲渡され、ワンダーフォーゲル部が管理を担当し現在に至っています。建設当初から山の家横のユートピアフィールドが山スキーのメッカとなっており、北大生の課外活動や一般開放による山スキーやスキーツアーとして活用されています。

山を家の課題は築80年を経た老朽化への対応と夏期利用の促進です。このため、1990(平成2)年には土台の鉄骨化や外壁・屋根などの大規模補修が行われました。最近の一部の雨もれや床下の腐食や畳の老朽化が問題となったため、北海道大学フロンティア基金とワンダーフォーゲルOB会により、奥手稲山の家補修・機能化プロジェクト2010-2011が実施されています。2010(平成22)年9月には、資材運搬に利用した道の開削と屋根補修と外壁の塗装が行われました。これにより山を家の長

寿命化と夏期利用も可能となりました。今後は、国有地に作られた道を植林して植生復元することが課題となっています。

2. 北大元気プロジェクト

北海道大学は学生の自主的な活動を支援するために公募型の「北大元気プロジェクト」を毎年行っています。平成23年度の活動のひとつとして、「奥手稲山の家を知ろう実行委員会」から提案された「奥手稲の緑化と自然探訪のプロジェクト」が採択されました。この目的は、①山の家の補修のために利用した資材運搬に利用した道の植生復元のための植樹と、②市民・学生参加による札幌近郊の自然探訪です。このプロジェクトには、北海道大学ワンダーフォーゲル部、ワンダーフォーゲル部OB会、NPO手稲さと川探検隊、石狩森林管理署、王子木材緑化(株)のご協力とご支援をいただいています。

この植生復元には、標高800～1,000メートルの樹林の主要構成種のダケカンバを1.5m程度の間隔で600本植樹する予定です。この作業には、学生と市民団体と一般市民（40名を予定）が連携して当たることになりました。

せっかくの機会ですので、植樹の後、この歴史ある山小屋で昼ごはんをいただき、その後は北大の大学院学生による昆虫ガイドや、植生・花のガイドなどで自然を楽しみます。

3. 効果

これは緑化・保護活動だけではなく、動物学、植物学を通じた学生と市民の交流を促進し、また、北大の山小屋の有効活用、人間自然共生にもつながると期待されます。

4. スケジュール・申し込み期間・方法など

日時：6月11日（土） 9:00～16:30

午前は植樹、山小屋で昼食（汁物が出ます）、午後は昆虫ガイド、植生・花の調査など

集合場所：王子木材緑化（株）手稲鉱業所林道入り口奥（手稲区手稲 金山124）

参加者：北大ワンダーフォーゲル部、同OB会、NPO手稲さと川探検隊のほか、学内外から定員40名（先着順）。小中学生は保護者同伴。

服装：防寒具・長靴など外遊びできる服装

持ちもの：昼ごはん、飲み物、汚れてもいい服装、長靴、着替え、あれば剣先スコップ

参加費：ひとり200円（保険代含む）

申し込み：6月8日（水）までに、メールで下記宛にお申し込みください。

E-mail：tkyng@res.agr.hokudai.ac.jp

主催：北大元気プロジェクト2011奥手稲山の家を知ろう実行委員会

共催：北大ワンダーフォーゲル部、同OB会、NPO手稲さと川探検隊

【問い合わせ・申し込み先】

高柳 竜太（北大ワンダーフォーゲル部・農学院修士課程1年）

E-mail：tkyng@res.agr.hokudai.ac.jp FAX：011-706-6772

【北大元気プロジェクト問い合わせ】

北海道大学学務部学生支援課学生支援企画担当 TEL：011-706-7460

【関係URL】

北大ワンダーフォーゲル部：<http://circle.cc.hokudai.ac.jp/huwv/index.htm>

手稲さと川探検隊：<http://www.sapporo-web.com/satogawa/>



山スキーのメッカ「奥手稲山の家」



「奥手稲山の家」までの植生調査



歴史を感じる奥手稲山の家内部



補修プロジェクト(2010年9月)